

マネージメント情報

※ 今から暑熱対策の準備？

以下は H17 年の 4 月の M 情報で紹介したものです。今年の夏は誰に聞いても今までで一番暑い夏!!!!!!という事でした。人間は喉元過ぎれば何とやら…で半月ほど前から漸く秋風が吹いてきた感があり、今年の暑さも次第に忘れ去られていくのでは？と思い、来年の暑熱対策にと思い、再度「ソーカー システム」とコストについてお知らせします。

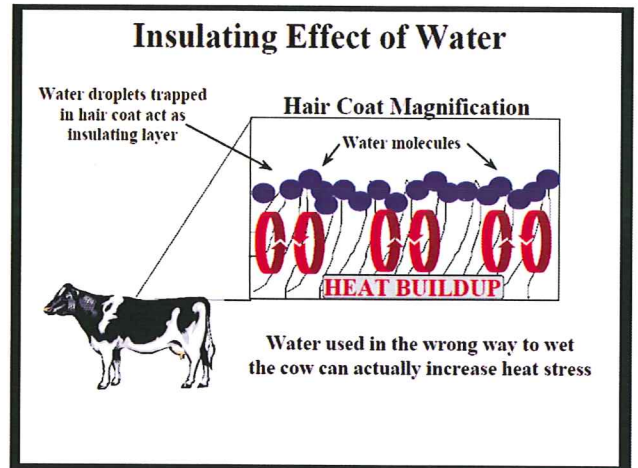
せっかくの円高ですのでこの機会を有効に利用して、希望する方に取りまとめをしたいと考えています。

それでは再読してみてください。

季節はずれの話ですが、今回は暑熱対策について…。鷲山さんからの紹介文献(カンサス州立大学)を参考に紹介します。今年の夏はどのような気候になるかは全くわかりませんが、準備は今から始めてちょうど良いのでしょう。既に多くの皆さんの牛舎にはファンを設置されています。もっと暑熱対策に効果のある方法が Soaker System です。Soak とは浸す、びしょびしょにするという意味です。Soaker の意味に大酒飲みというのがあります。(当社にも若干名の Soaker がいるとかいないとか?)

細霧(ミスト)については根室地方でも若干普及していますが、この方法では逆に水滴が小さすぎて被毛の中で熱がこもってしまい(図1)、その熱によるストレスが高まることが分かってきました。

<図1>



暑熱に対する効果はファンと水を比べるとファンよりも水の方がありますが、二つを組み合わせることによってさらに効果があがります。

実際には餌槽の上にパイプを配管し 2.4m 間隔でノズルをつけます。その他に水を出す時止める時にだらだらと水が出て餌槽を濡らさない為にチェックバルブで水圧を調整する必要があります。

簡単な仕掛けですので写真を参考にしてイメージしてみてください。

今回、このシステムを導入する方がいますので、もし興味をもち導入をお考えの方いましたら私までご連絡ください。

バルブのコストはアメリカの原価で1つ¥600 位だそうです。輸送料、税関のコストを考えると¥700 位でしょうか。ご自分の牛舎の長さを測り 2.4m 間隔で設置しますので割返してみてください。

もっと細かく調整するためにはタイマー、サーモスタット等のコントロールボックスが必要になります。

と、ここまでが、H17 年の分です。

その後、研究が進みあらためてソーカーとファンの組合せが暑熱対策にひじょうに有効である事が証明されてきています。

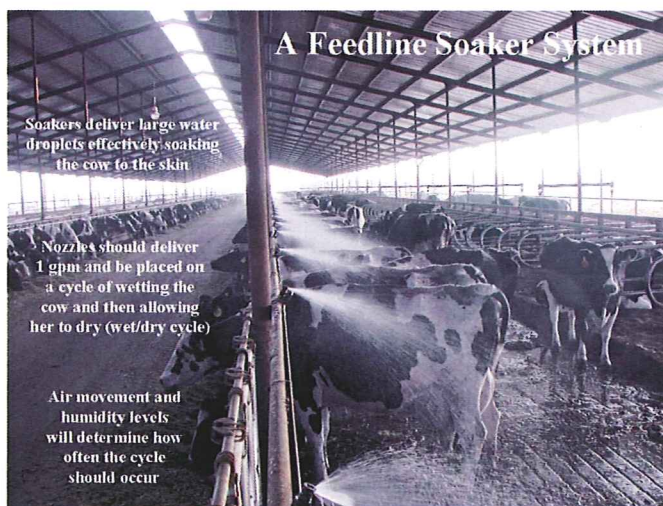
北海道、特に道東では夏の暑熱対策は必要ないという考え方が一般的だったように思います。しかし、暑くない地域で暮らす牛も、人も元来暑さには弱く、暑い地域の牛、人よりも少々の暑さの変化について行けずそのストレスはひょっとして日本一かもしれませんね。

先週、愛知県豊橋の鈴木先生を話す機会があり、愛知県でも暑熱対策の主体はソーカーをファンの組合せとのことでした。

ポイントはとにかく牛を水でびしょびしょに濡らし、ファンで可能な限り強い風を牛に当てるということで、実に単純明快でした。ファンの設置高も通路から 190cm がベストとのことです。理由は牛がいたずらしない、作業的に邪魔にならない一番低い高さということです。

ソーカーの設置場所は飼槽エリア、待機室はもちろんで、その他にパーラーの中やリターン通路にも必要だと強調されていました。その他のポイントとして西日の遮断と刺しバエを牛舎内に入れないように 2mm メッシュの網で出入り口を塞ぐ事も合わせて強調されていました。

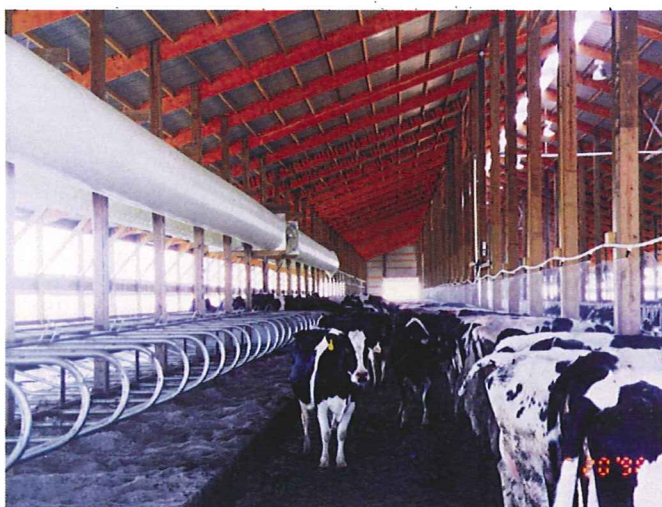
という事で、写真でおさらいして下さい。



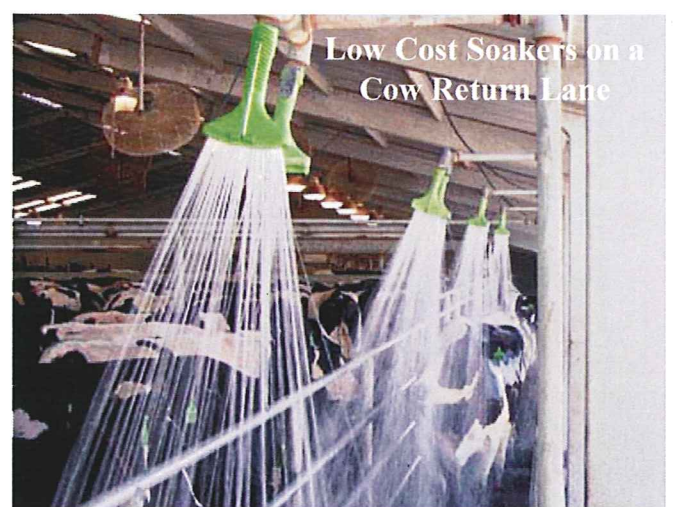
この位の勢いで水がでます。



乳房は意外に濡れない事がわかります。



ベッドの上にダクトから風を送る農場



これもローコストのソーカー(シャワー)

その他に、鷺山さんから送られてきた資料も添付しますので、これも参考にして下さい。

基本的なコストは表-1 のとおりですがアメリカ国内の価格ですので、その他に鷺山さんのセールスタックスとアメリカ国内とアメリカ→日本の輸送コストが必要になり諸経費等含めて概算ですが表の価格+30-40%位の費用になるでしょうか？また、数量によっても一番高い運賃が異なってきますので多少前後すると思います。

<表-1>

		ドル	備考
コントローラー	C-440S	545	4ヶ所のエリアをカバー
	C-110S	495	ホールディングエリア用として
電磁弁キット		240	
ノズルキット	フィードライン用	6	
ノズルキット	ホールディングエリア用	11	
ノズルキット	タイストール用	10	ベッドの数だけ必要

基本セットで考えると、

コントローラー C440S:\$545

コントローラー C110S:\$495

電磁弁キット :\$240

ノズルキット フィードライン: $\$6 \times 80 = \480 (100m 牛舎($100 \div 2.4m = 41.6$)で飼槽 2 列($\times 2$))

ノズルキット ホールディングエリア: $\$11 \times 12 = \132

合計コスト $\$1,892 \times 1.3-1.4$ として $\rightarrow \$2,459.6 \sim \$2,648.8 \rightarrow \$1 = ¥85$ として

¥209,066～¥225,148 ということになります。

実際には取付工事費用がかかりますので、規模によると思います 10～15 万円程必要になります。

あくまでも概算ということでご理解していただきたいと思います。

年があげれば忘れてしまうと思いますので、是非この機会にソーカーの設置をご検討下さい。

※ T○P セミナーの開催について

口蹄疫の発生があり開催を延期していました第 3 回目の T○P セミナー(雇用セミナー)を 10/8 (金)10:00-15:00 の予定で別海町交流センター「ぷらと」で開催しますのでお知らせします。

雇用問題でお悩みの方はとても多くいらっしゃいます。一人で悩まずに某かのヒントがあるはずですので、是非参加して下さい。

ご希望の方は事務所まで連絡していただければと思います。

.....
・今後の酪農情勢についての話題…「肉高だけど飼料・資材コストは下がる」「乳価は上がらない」そんな情勢の中何が必要なのか？ 粗飼料地帯の根室だからできる事があるはず。 → 良い草・良い土・良い人 !!!!!